

2019年度 第2回 血友病診療センター運営委員会

日 時： 2020年3月27日（金）17時30分～18時30分
場 所： 診療棟3階西 カンファレンスルーム2
出席者： 藤井委員長，柴，川口，西村，中島，山崎，光畑（香西代理），池田，武澤，
岩城，梶原，岡田（美） 各委員
陪席者： 岡田（賢），溝口
欠席者： 木村，中島，松原，富岡，藤井（健） 各委員

報告事項

1. AYA世代を対象とした成人血友病包括外来実施結果について

藤井委員長より資料1を用いて小児科から血液内科にトランジションしたAYA世代を対象とした血友病包括外来者数は4名であったこと及び改善点の報告があった。池田，西村，岡田（美）委員からも計画通りに実行できたと報告があった。

2. 成人包括外来実施結果について

藤井委員長より資料2を用いて成人包括外来者数5名であったと報告があった。池田委員より冬季に実施した成人包括外来において、所要時間の長さや歯科受診前後の流れが不透明になることで、多くの患者が17時前後の帰院となったと報告があり、改善すべき懸案となった。

3. 臨床研究・治験の現況について

藤井委員長より資料3を用いて現在行われている臨床研究・治験の現況報告があった。近年では市販後使用実績調査も臨床研究として実施することになっているため、その場合は藤井委員長に連絡するよう全委員に依頼した。

4. 議事

(1) 2020年度の小児科における血友病包括外来について

藤井委員長より松原委員の異動に伴い、小児関節エコーの実施方法について確認があった。西村委員より、小児包括外来時期においては院外Drに協力を仰ぎ、遠方患者を優先して関節エコーを実施予定であると発言があった。また、定期通院患者においては包括外来時期以外の月または金曜日に院内医療者による関節エコーを実施にて関節を評価予定であると報告があった。

(2) 今後の成人血友病包括外来の方法について

藤井委員長より今後は関連病院に声掛けを行い、包括外来受診者数を確保したいと発言が

あった。また、成人の関節エコーは、現在山崎委員が実施しているが、技術・診断技術の向上のため、小児関節エコー実施者が確定し次第、成人関節エコーの方針を決めていきたいと発言があった。岡田委員より歯科受診は時間内に収まるよう対応したが、さらにスムーズに行うための解決案として意思疎通の強化が挙げられた。藤井委員長より、これらを踏まえ、成人包括外来も円滑に実施できるよう今後も議事として取り上げて改善していきたいと提案があった。

(3) 凝固第 VIII・IX 因子活性測定について

梶原委員より臨床検査適正化委員会にて、院内における凝固第 VIII 因子活性測定法を合成基質法に変更すること及び合成基質法による凝固第 IX 因子活性測定を外注委託（SRL）とすることが審議され、可決したと報告があった。それを受け、電子カルテオーダー画面の名称および時系列表示方法について相談があった。藤井委員長より凝固第 VIII・IX 因子活性オーダーは血友病診療医師以外しないため略語を用いる提案（「凝固第 VIII 因子活性（OSA）」「凝固第 VIII 因子活性（CGA）」「凝固第 IX 因子活性（OSA）」「凝固第 IX 因子活性（CGA）」）がなされ、全会一致で賛同となった。また名称変更後の時系列表示については、同行内表示の方針となった。

(4) 血友病診療センター運営委員変更について

藤井委員長より 2020 年度から松原委員の本運営委員退任および小児科の岡田（賢）教授、溝口医科診療医の本運営委員任命について提案があり、全会一致で可決された。